

様式1(主な取組)

活動指標名	海外研修員受け入れ人数				R元年度			R元年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		12	10	9	5	9	—	100.0%	0	順調
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
										水道分野での技術支援に特化した国際交流・貢献活動として、JICA沖縄及び市町村と連携し、JICA海外研修員等を受け入れ、島嶼地域に適合した水道事業の運営等に関するノウハウの移転を行った。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・H30年度に実施した「島嶼における水資源管理・水道事業運営」は、次年度以降に、より実践的に安全な水の確保に向けた研修内容として実施される予定であり、JICA沖縄及び市町村と連携し、太平洋島嶼国に適した水道事業の運営及び水資源の保全に関するノウハウを提供することで、引き続き技術支援に特化した国際協力及び貢献活動を行う。</p>						<p>・当年度は、JICA沖縄において現地におけるニーズ調査等の情報収集を行い、太平洋島嶼国等の水事情等に即した研修内容の見直し等を実施しているところである。今後も新たな研修実施が予定されており、引き続きJICA沖縄と連携し、水道分野の技術支援に特化した国際協力・貢献活動を行う。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ JICA沖縄では、太平洋島嶼国等の水事情等に即した、より実践的に安全な水の確保に向けた研修を実施予定であり、引き続き連携して、JICA課題別研修等の研修員を受け入れ、水道分野の技術支援に特化した国際交流・貢献活動に取り組む必要がある。

○外部環境の変化

・ 沖縄の地理的な特性とこれまでに培った経験や知識及び様々な分野における研修成果を活かし、県民の協力と理解のもと、国際協力の知見を有する専門機関等と連携・協力し、国際協力・貢献活動を推進していくことが求められる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 沖縄県と地理的、気候的特徴が類似する太平洋島嶼国等に対し、国際協力の知見を有する専門機関等と連携・協力し、島嶼地域に適合した水道事業の運営及び水資源の保全に関するノウハウの移転等を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ JICA沖縄及び市町村と連携し、島嶼地域に適合した水道事業の運営及び水資源の保全に関するノウハウの移転等を行うことで、引き続き技術支援に特化した国際協力及び貢献活動を行う。